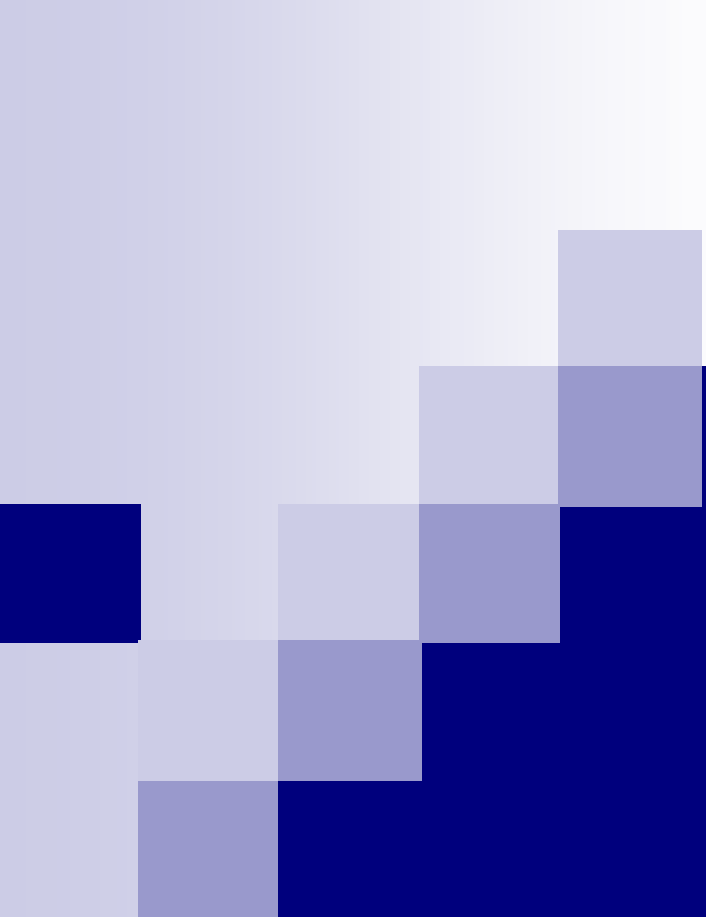




川崎市における 生ごみの現状と取組

環境局生活環境部減量推進課

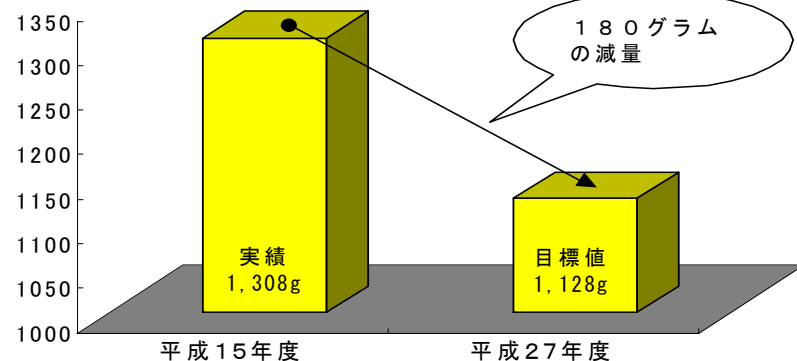


I 川崎市の廃棄物の現状

1

市民一人一日あたり180gの
ごみの減量

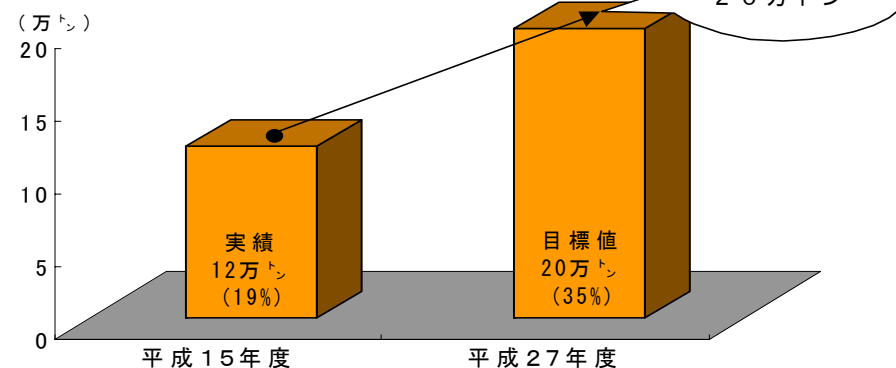
ごみ排出量
(g)



2

20万tの資源化（資
源化率35%）

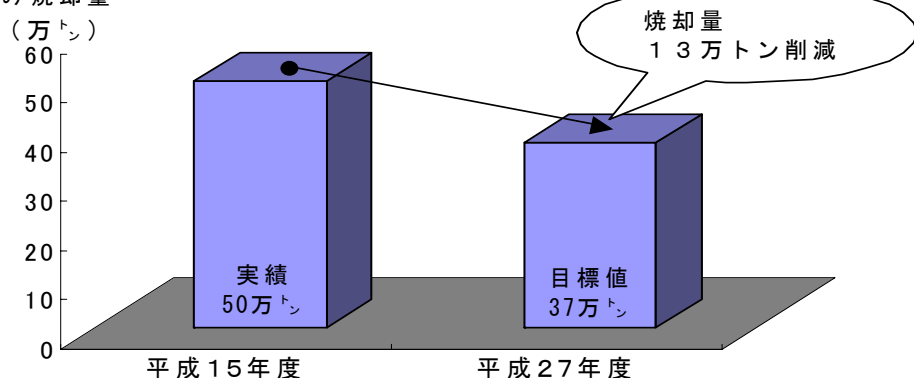
資源化量
(万トン)



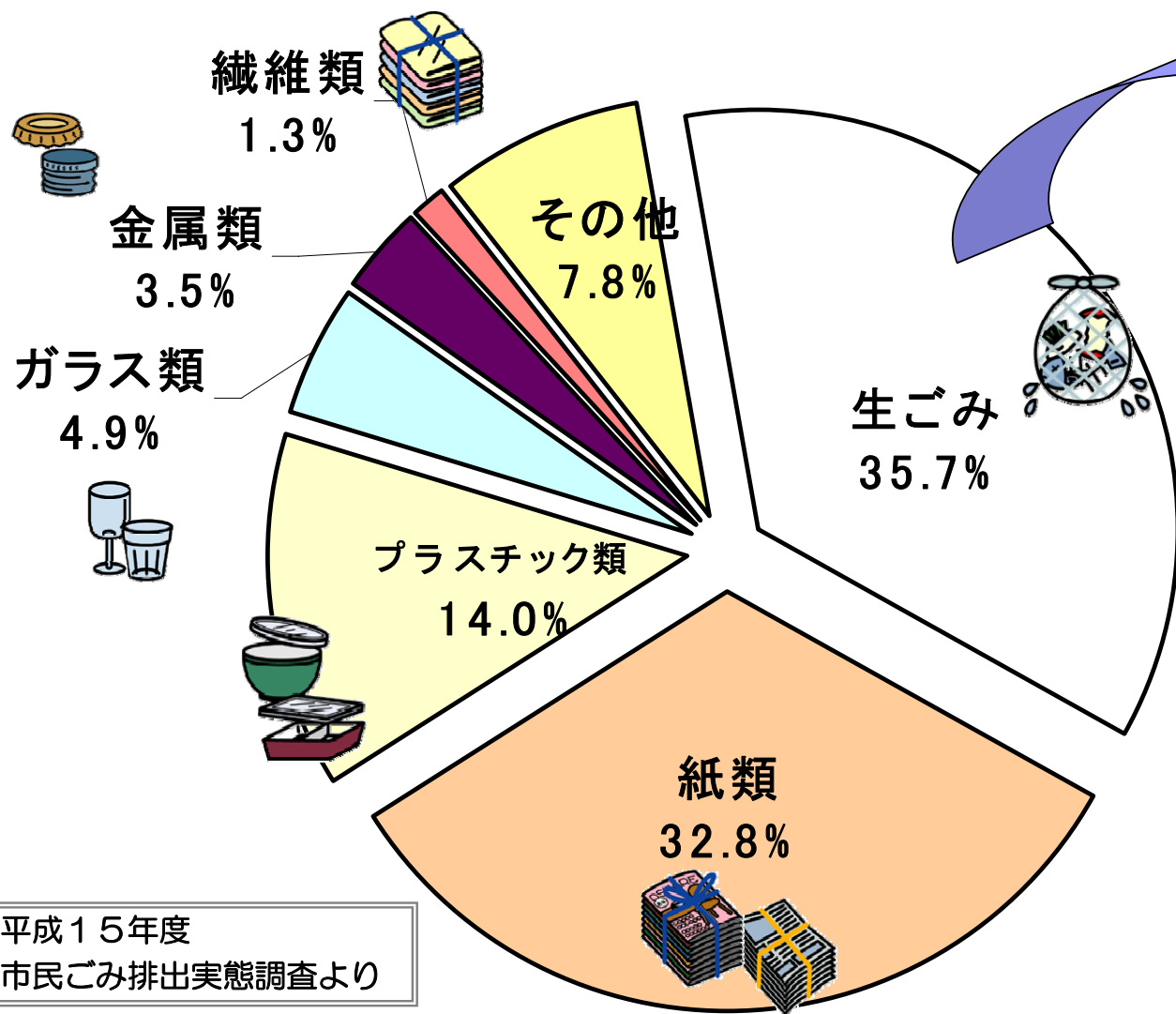
3

13万tの焼却量の削減

ごみ焼却量
(万トン)



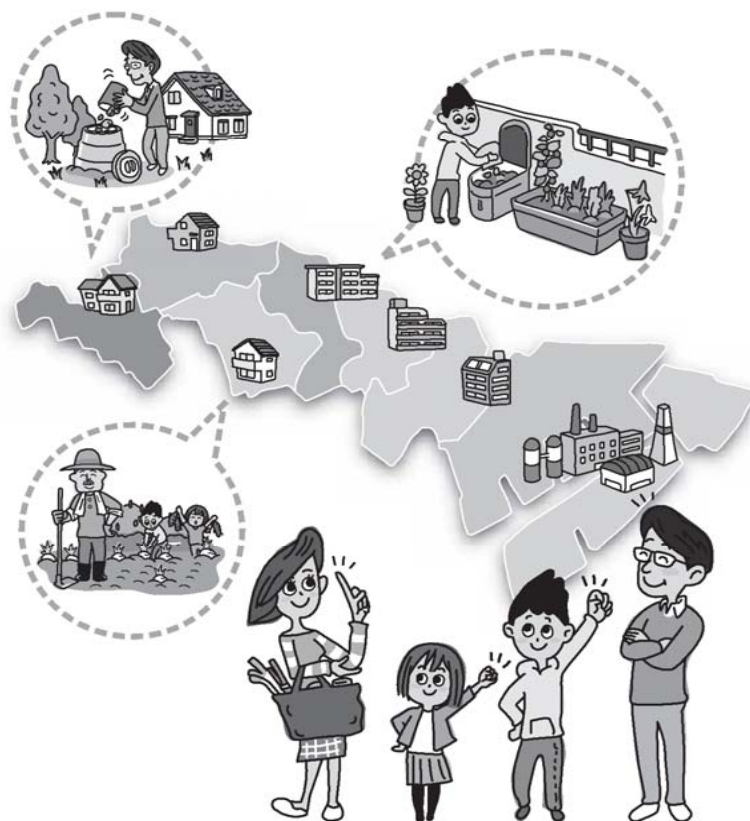
埋立処分場の延命化！
3処理センター体制の実現！



かわさき

生ごみリサイクルプラン

— 楽しくチャレンジ生ごみダイエット! —



平成19(2007)年2月

川崎市

平成20年度調査では生ごみは29.8%に減少



生ごみリサイクルを取り巻く現状と課題

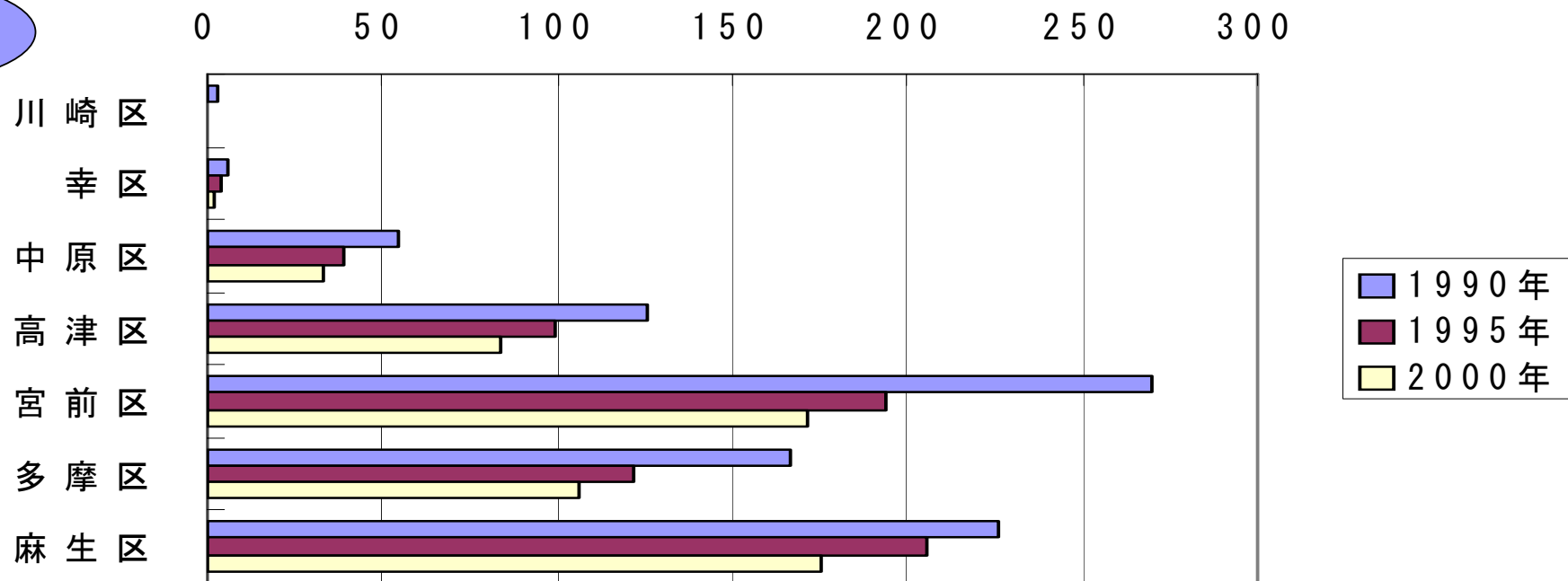
■市街化の進んだ都市におけるリサイクルシステムの構築

■川崎市特性を踏まえた生ごみリサイクルの必要性

■生ごみリサイクル生成物の活用先

■情報の共有化の推進

参考



【区別農地面積の推移 (ha)】